## 産業保健委員会　　仁科　昌久

　平成 28 年度からは産業保健委員会を、それぞれ豊中市医師会産業医研修会の終了後に、反省会を兼ねて同日に行うように設定した。平成 28 年７月 23 日（土）に第１回委員会を開催し、第２回委員会は平成 29 年１月 28 日（土）に開催した。

　第１回委員会では、当日の産業医研修会を振り返ってという案件と、次々回（平成 29 年度第１回）の日程と内容について、および産業医研修会講師候補者の選定を行った。そして、平成 29 年度第１回産業医研修会の日程を、平成 29 年７月 29 日（土）で予定した。

　平成 28 年度第２回委員会では、当日の産業医研修会を振り返ってという案件と、次々回以降の産業医研修会の内容と日程について、および講師候補者の選定、そして産業保健委員の増員についてが話し合われた。

　平成 29 年度第２回産業医研修会の日程は、平成 30 年の同時期の土曜日を予定。産業衛生が多科にわたる為、今までに講演していただいた医学科目、内科・整形外科・眼科・精神科・救急・小児科・公衆衛生以外での、今までになかったような分野を考慮して、日程に合う方を講師とすることが話し合われた。また豊中市医師会産業保健委員として、現在の委員の専門以外の科の、産業医の資格をお持ちの先生を加えること、さらに女性労働者問題対応の為、女性委員の増員についても話し合われた。

　平成 28 年度第１回研修会は平成 28 年７月２日（土）と７月 23 日（土）の２回に分けて、千里阪急ホテルにて　①「職場巡視の見方」という演題で産業医科大学産業衛生学教授、山田誠二産業保健センター所長（元パナソニック産業保健センター所長）山田　誠二　先生に、② 「労働者の心身の健康の確保をめぐる現状と国の施策等について　−産業医活動の背景知識として−」という演題で 前 淀川労働基準監督署署長、現 大阪南労働基準監督署署長　田中　精一　先生にご講演いただいた。

　今回は、平素なかなか単位取得のできない実習と更新の単位ということで、日医のホームページには出さずに、府医・豊医のみで受講者を募集したが、両日とも即座に満杯となった。

　山田　誠二　先生は、平成 19 年７月に厚生労働大臣功績賞、平成 26 年７月には厚生労働大臣功労賞を受賞されており、今後は文化勲章も、という先生で、著書も数多く出版されている。

このたびは先生の著書３冊を、豊中市医師会にご寄贈いただいた。

　また、田中　精一　労働基準監督署長には、産業衛生上の「いま何が問題なのか」という点について、監督署署長の立場からみた法律上の問題をベースにご講演いただいた。

　受講者数は、平成 28 年７月２日 100 名（内、豊中市医師会会員 49 名）、７月 23 日 97 名（内、豊中市医師会会員 33 名）であった。

　平成 28 年度第２回の産業医研修会は、平成 29 年１月 29 日（土）に千里阪急ホテルにおいて、前久保クリニック院長の前久保　邦昭　先生に「新ストレスチェック制度から学ぶ、産業医と学校医へのメンタル疾患予防の現状と課題」という演題でご講演いただいた。

　今回の講演は、ストレスチェック制度が始まって産業医の先生がたが実際に疑問としておられる内容や、面談の際の具体的な対応のしかた等について、こと細かに解説していただき、参加者皆が納得して受講することができた。　また今回も、日医認定産業医と府医認定学校医制度の同時単位取得が可能となり、時間に追われてなかなか単位取得できない先生方には有用なご講演となった。

　参加者総数 219 名（内、豊中市医師会会員 79 名）。

　平成 28 年度は、事業所相談が年 17 回で、相談者数は昨年をさらに上回り、相談者のない日は全くない状態となった。この為、次年度からは事業所相談を年19回に増加することとなった。その他、各企業の個別訪問指導や企業産業医契約依頼が多数あり、それぞれ豊中市医師会の各先生方にご協力頂き、好評のうちに実施されている。